

保護者 様

白井市立七次台小学校  
校長 本間 賢一

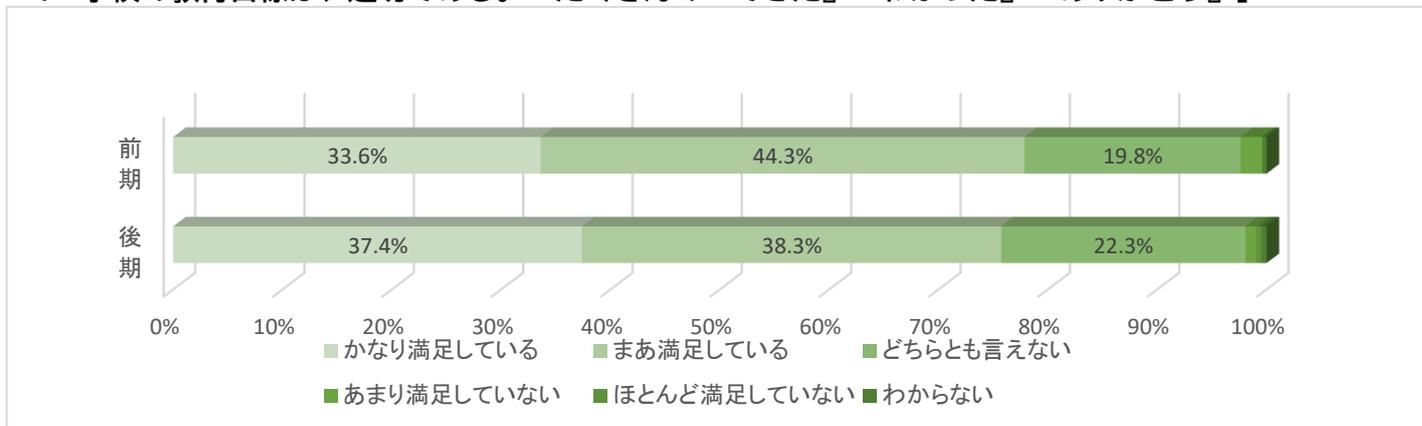
令和7年度 後期学校評価アンケート（保護者）の結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、過日実施しました「学校評価アンケート」につきまして、以下のとおり集計ができましたので、お知らせいたします。

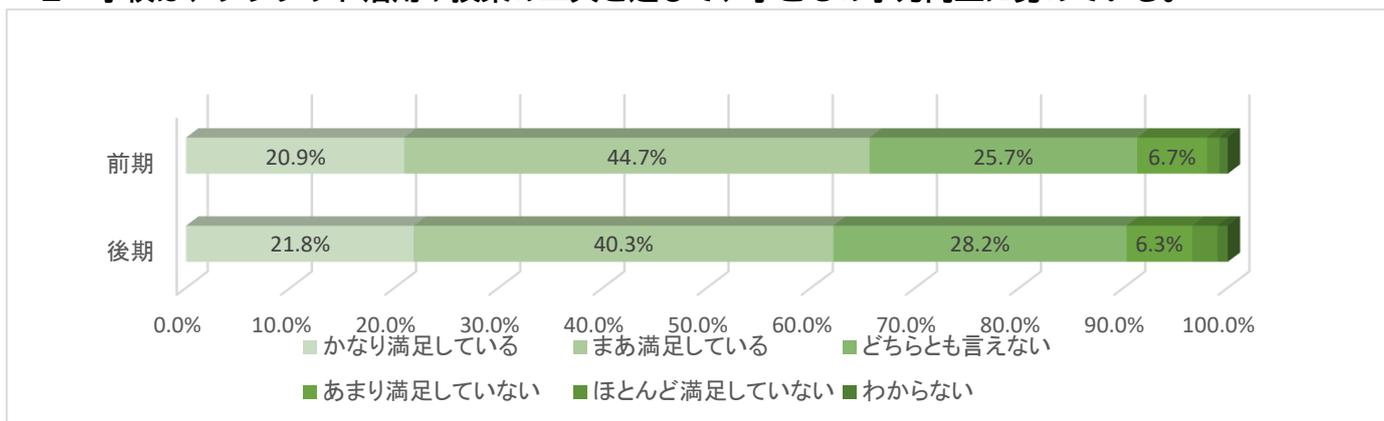
【回収率 前期63.7% 後期51.1%】

1 学校の教育目標は、適切である。「たくさんの『できた』『わかった』『ありがとう』」



「かなり満足している」という回答が前期 33.6% から 後期 37.4% と増加しました。この結果から、学習面や学校生活の中で、子どもたちが「できた」「わかった」と感じる場面が増え、成功体験や学ぶ楽しさを実感する機会が広がっていることがうかがえます。また、友達や先生との関わりの中で「ありがとう」を伝え合う姿が日常的に見られ、学校の温かい雰囲気により浸透してきたことも評価につながったと考えています。後期にかけての行事や学習活動の充実、学級のまとめ、教師の授業改善の取り組みなどが、保護者の皆様にとって“教育目標が実感できる学校”として映ったのではないかと思います。一方で、すべての保護者の皆様に十分に伝わっているとは言い切れない部分もあります。今後も、子どもたちの成長の様子や学校の取組を積極的に発信し、教育目標がより一層感じられる学校づくりに努めてまいります。

2 学校は、タブレット活用や授業の工夫を通して、子どもの学力向上に努めている。



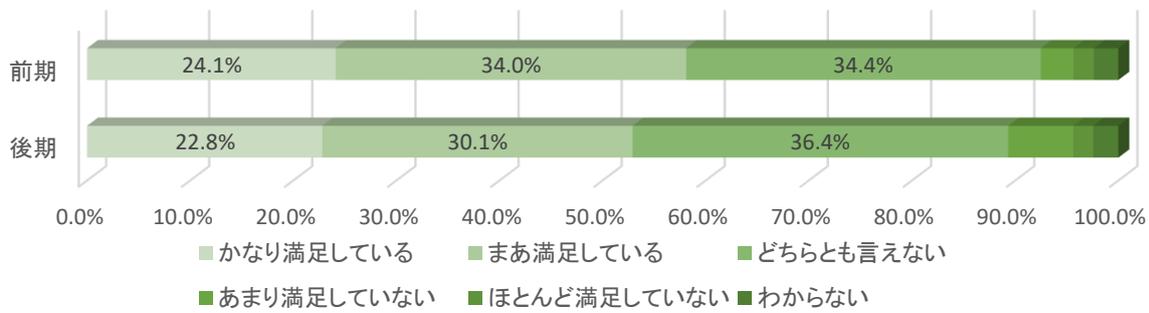
タブレット活用や授業改善へのご評価は、満足計が前期65.6%から後期62.1%へとわずかに低下し、「どちらとも言えない」が増加しました。一方で「かなり満足」は微増しています。学年末に向け成果の見える化と活用の質向上を一層進めてまいります。

本校では、ICT活用によって学習の幅が広がる一方で、「書く力」も大切にする学習の在り方を重視しています。考えを整理する場面では手書きのノート、まとめや共有の場面ではタブレット、といったように目的に応じて使い分けることで、子どもたちの「考える力」「書く力」「表現する力」をバランスよく育てています。

また、ICTを“文房具のように”使いこなせるようになることを目標に、授業を通じた活用に加え、タイピング大会（3年生以上）など、自分の成長を実感できる取組も行っています。こうした活動は子どもたちの意欲や自信につながり、学習に主体的に向かう姿を支えています。

これらの取組が、後期の満足度向上に寄与したと考えています。今後も、手書きの良さとICTの便利さの両面を生かしながら、子どもたちの学びを充実させてまいります。

### 3 学校は、それぞれの子どもの個性に応じた支援（特別支援教育）に努めている。

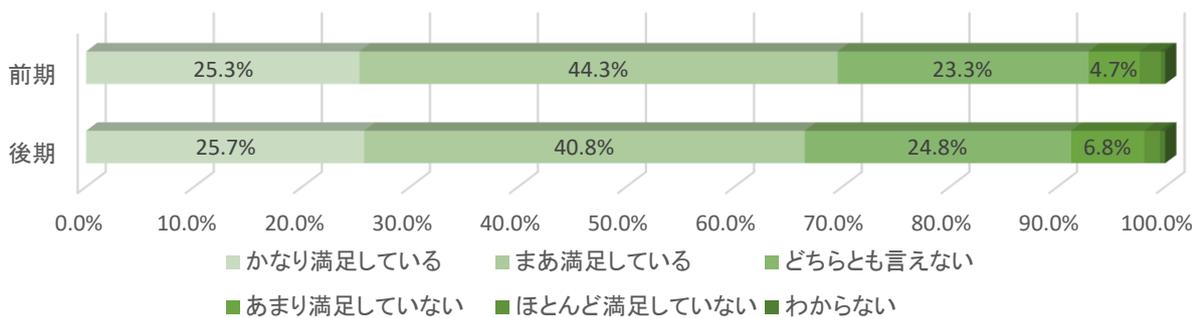


本項目では、「かなり満足」「まあ満足」が 52.9% と前期よりやや減少し、「どちらとも言えない」が 36.4% と増加しました。特別支援教育の取組が、十分に伝わっていない可能性があるかと受け止めています。また、「わからない」の回答が比較的多い点から、日頃の取組が見えにくいことも課題だと認識しています。

特別支援教育は個別支援学級に限らず、通常の学級を含めたすべての教育活動において必要に応じて支援を行っています。合理的配慮も年度初めだけでなく年度途中の申し出も可能です。お子様の困り感や学習・生活面での悩みについては、担任のほか、特別支援コーディネーターや教育相談担当、教頭など、多方面で相談を受け付けています。

今後は、授業改善の工夫や個別の支援、校内の支援体制について、より分かりやすく情報発信し、保護者の皆様に学校の取組を実感していただけるよう努めてまいります。また、ご意見やご相談をこれまで以上に気軽にいただける雰囲気づくりにも取り組んでまいります。

### 4 学校は、子どものがんばりをほめ、間違った行動に対しては、適切に指導している。

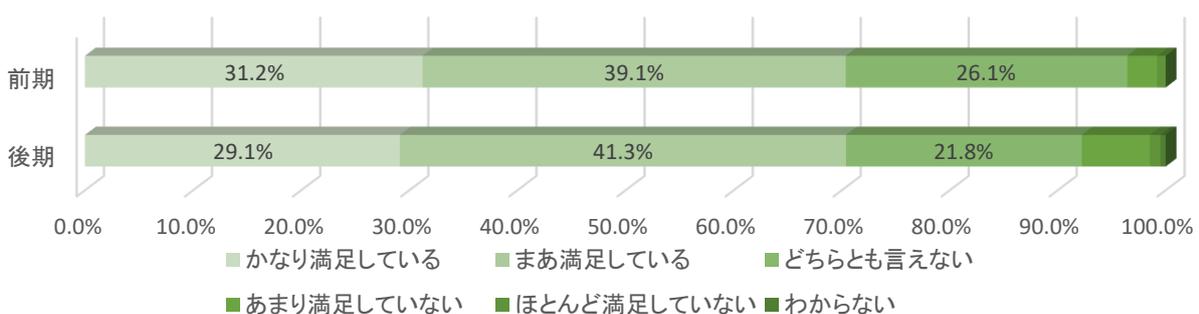


本項目では、「かなり満足」「まあ満足」が 66.5% となり、前期よりわずかに減少しました。「どちらとも言えない」は前期と同程度でしたが、「あまり満足していない」などが増えており、日頃の指導の様子が十分に伝わっていない面があると受け止めています。

本校では、子どもの努力を認める声かけを大切に、誤った行動には理由を丁寧に伝える指導を行っています。トラブル時には事実確認を行い、児童理解に基づいて再指導につなげています。

今後は、指導の工夫や学校での様子について、学年だよりや学校だよりなどを通して、より分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

### 5 学校は、「安全・安心」のため、子どもへの安全配慮を行い、事故防止に努めている。

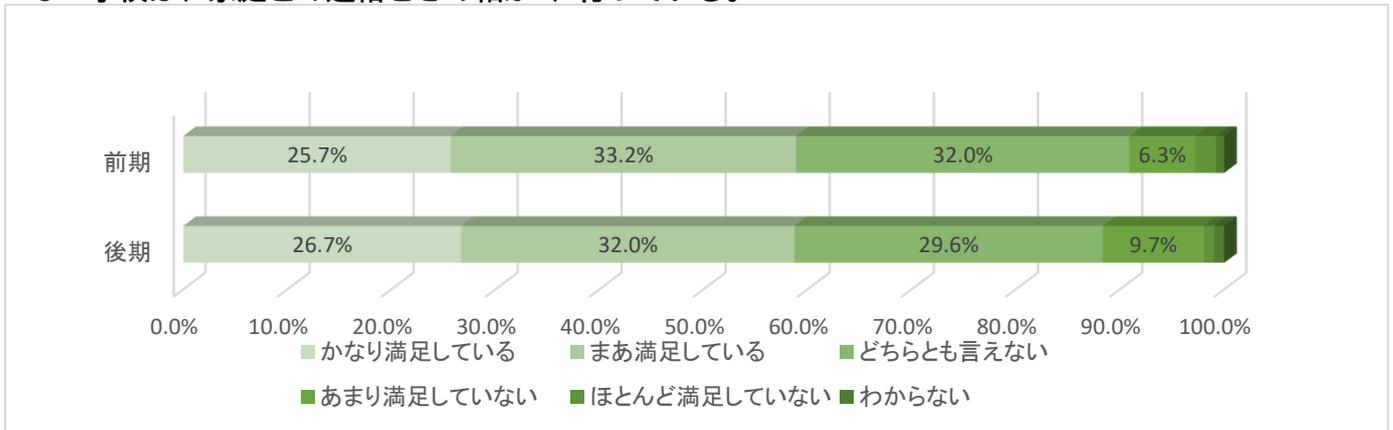


本項目では、「かなり満足」「まあ満足」が 70.4% となり、前期とほぼ同程度の評価をいただきました。一方で、「あまり満足していない」などの回答が増えており、安全への取組が十分に伝わっていない面があると受け止めています。

本校では、登下校の見守りや校内の危険点検、授業・休み時間での安全指導など、日常的に事故防止に努めています。また、事故発生時には迅速な対応と再発防止の見直しを行っています。

今後も、学校での安全指導の様子や取組を、学級通信や学校だより等で分かりやすく発信し、保護者の皆様により安心していただけるよう努めてまいります。

## 6 学校は、家庭との連絡をきめ細かく 行っている。



連絡帳やタブレットの持ち帰りについて、多くのご意見をいただきました。特に、タブレットの重さや連絡の確認がしにくい点、紙の連絡帳を望む声が多く寄せられました。一方で、ICTを活用することで、欠席時でも連絡が確実に届くこと、児童の書き漏れや担任のチェック漏れを防げることなどの利点もあります。

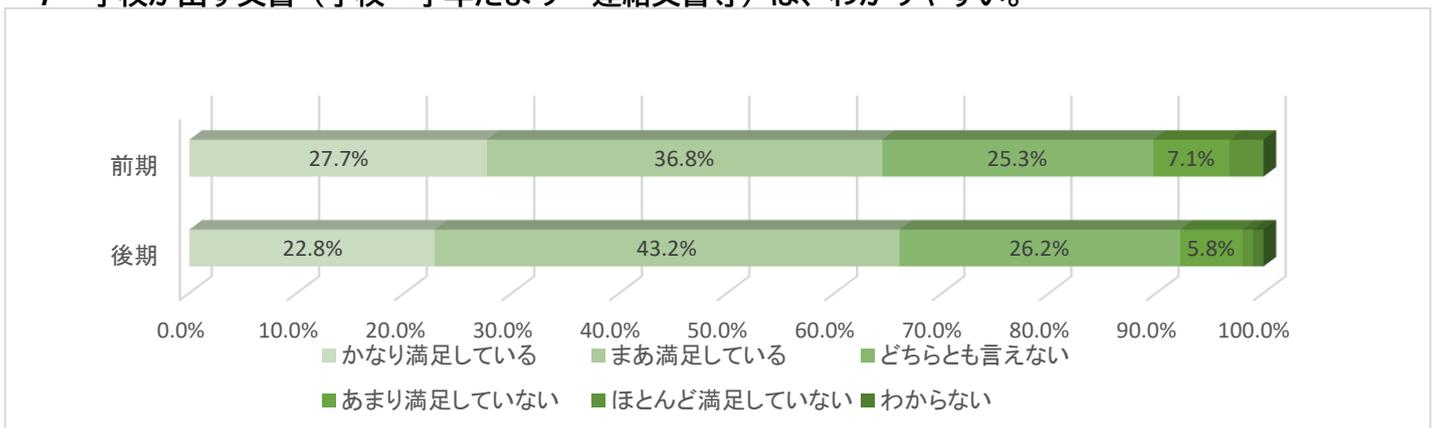
こうしたメリットを生かしつつも、「紙に書く」「手を動かす」学びの大切さを再確認し、児童の発達に応じて連絡方法を見直していく必要があると感じています。また、タブレットの重量負担や連絡の伝わり方についても改善を進めてまいります。

今後は、紙とICTのそれぞれの良さを生かし、より確実に負担の少ない連絡方法を検討しながら、家庭との連携がしやすい環境づくりに努めてまいります。

学級閉鎖に関するご意見として、「該当学年だけでなく、感染予防のために全保護者へお知らせしてほしい」という声を複数いただきました。校内で感染が広がる可能性を踏まえ、ほかの学年のご家庭にも状況を把握していただくことは、体調管理や早めの予防につながる大切な視点であると受け止めております。

いただいたご意見を踏まえ、今後は学級閉鎖が発生した際には、対象学年に限らず、全保護者に向けて注意喚起の連絡を行ってまいります。感染状況を共有することで、ご家庭でも心構えができ、早期の受診や予防行動につなげていただけるよう努めてまいります。

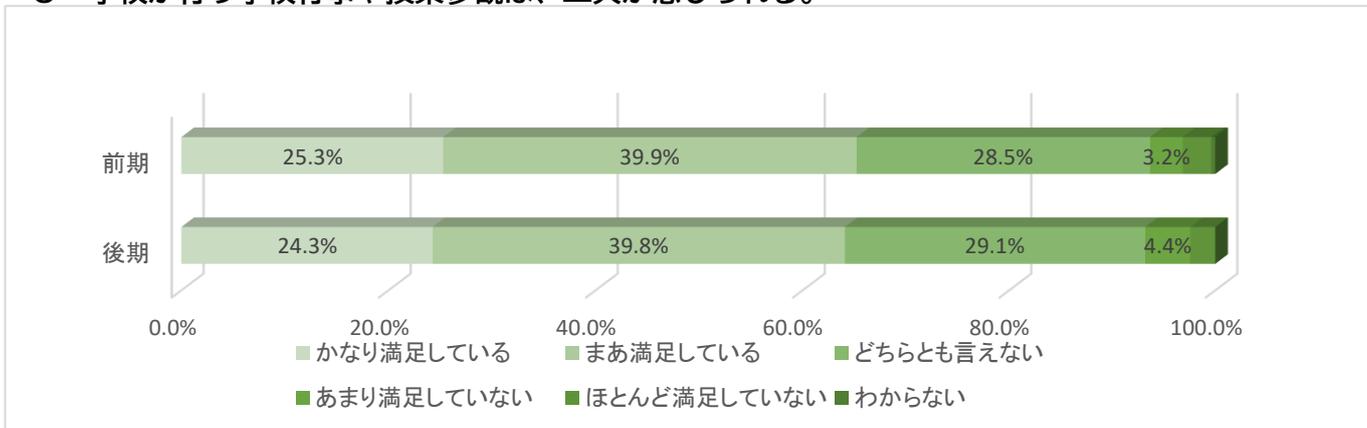
## 7 学校が出す文書（学校・学年だより・連絡文書等）は、わかりやすい。



本項目では、「かなり満足している」「まあ満足している」と回答された方が 66.0% となり、前期とほぼ同程度の評価をいただきました。「まあ満足している」が増加しており、学校・学年だよりや各種連絡文書について、多くの保護者の皆様に一定の理解と評価をいただいているものと受け止めています。

今後も、学校・学年だよりや連絡文書の書き方や伝え方を工夫し、必要な情報が過不足なく、誰にとっても理解しやすい形で届くよう努めてまいります。また、保護者の皆様からいただくご意見を参考にしながら、引き続き分かりやすい情報発信に取り組んでまいります。

## 8 学校が行う学校行事や授業参観は、工夫が感じられる。

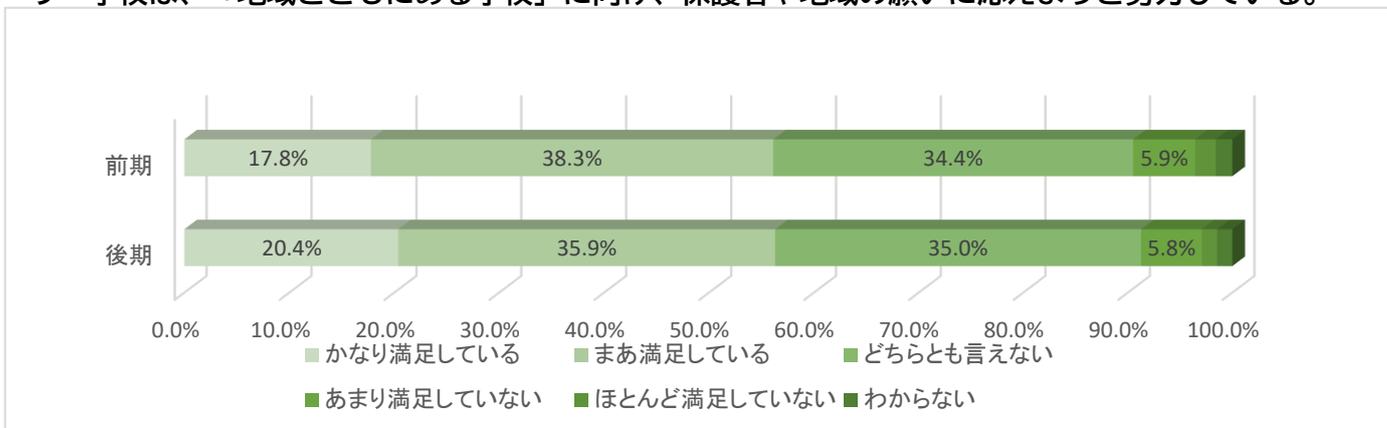


本項目では、「かなり満足している」「まあ満足している」と回答された方が 64.1% となり、前期とほぼ同程度の評価をいただきました。

本校では、児童の成長がよく見えるよう、発達段階に合わせた活動を工夫し、授業参観では日常の学習の様子を感じていただけるよう取り組んでいます。児童の負担、準備期間、気候、安全面を考慮し、最も適した時期と内容で実施しています。行事は、こうした安全性や準備のしやすさ、児童の成長段階に応じた活動が行いやすいことから、保護者の皆様のお声を参考にしながら、来年度もおおむね現在と同様の時期・内容で実施する予定です。

今後も、行事や授業参観がさらに充実するよう内容や運営の工夫を進めるとともに、ご意見を踏まえて、学校の取組がより伝わりやすい情報発信に努めてまいります。

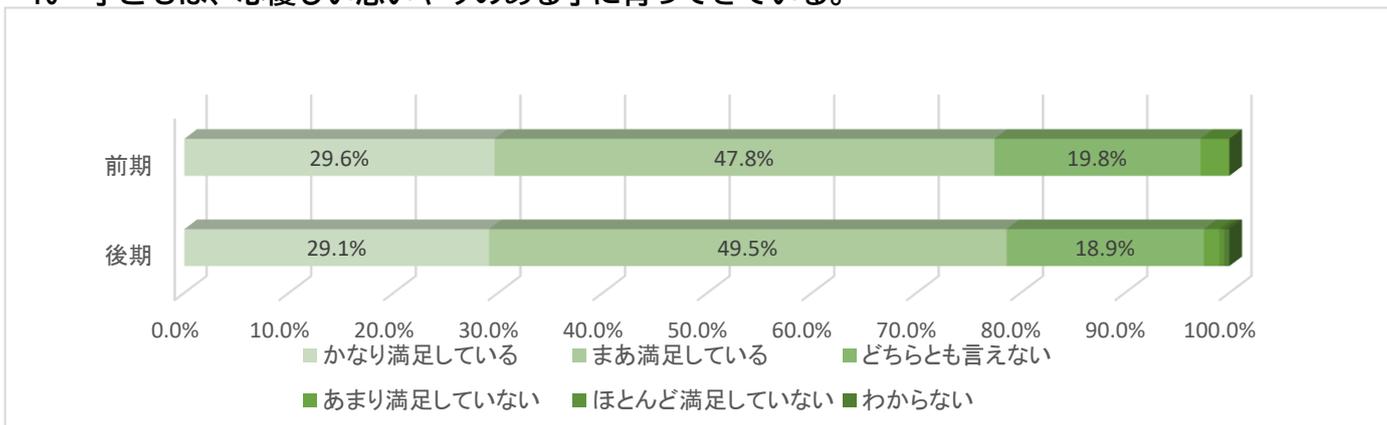
## 9 学校は、「地域とともにある学校」に向け、保護者や地域の願いに応えようと努力している。



本項目では、「かなり満足」「まあ満足」を合わせた割合が 56.3% となり、前期の 56.1% からほぼ横ばいでした。今年度より本格的に取り組んでいる コミュニティ・スクール（学校運営協議会）では、地域や保護者の代表の方々と学校方針や教育活動について意見交換を行い、学校の課題と改善点を共有しながら、よりよい学校づくりに向けた協働を進めています。こうした活動を通して、地域の願いを教育に反映し、子どもを地域全体で育てる体制づくりに努めています。

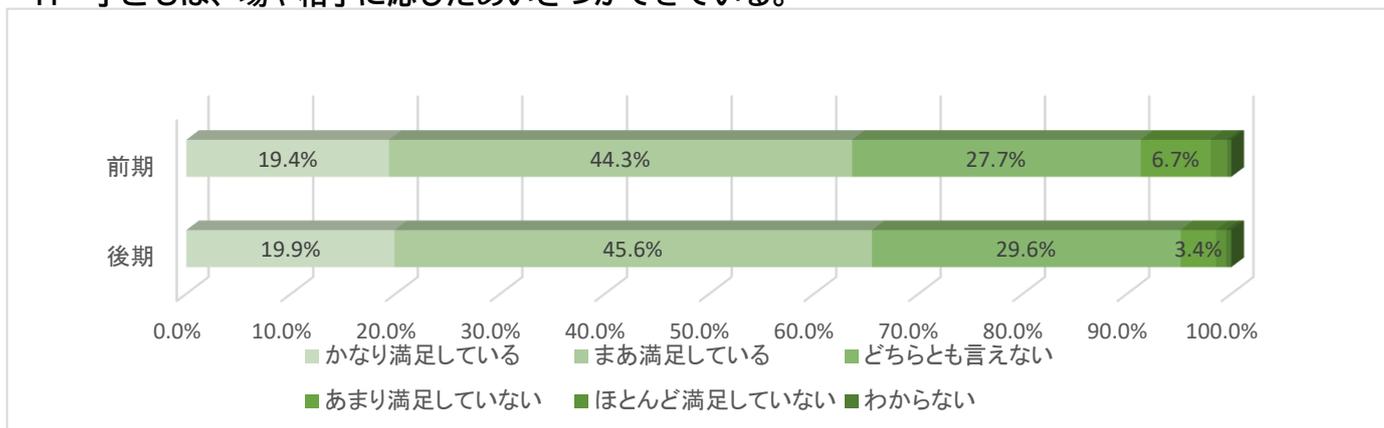
ただし、これらの連携の具体的な内容や成果が、ご家庭の皆様十分に伝わっていないことも課題と捉えております。今後は、学校だよりやホームページを通して、コミュニティ・スクールでの協議内容や地域と連携した活動の様子を分かりやすく発信し、保護者の皆様に地域連携の姿がより“見える”形となるよう努めてまいります。

## 10 子どもは、心優しい思いやりのある子に育ってきている。



本項目では、「かなり満足」「まあ満足」と回答された方が 78.6% となり、前期の 77.4% からわずかに上昇しました。子どもたちの思いやりの育ちを、より多くの保護者の皆様感じていただけた結果と受け止めています。本校では、学級活動や行事、日々の関わりの中で、友達の気持ちを考えたり、助け合ったりする場面を大切にしています。こうした取り組みの積み重ねが、今回の評価につながったと考えております。今後も、温かい人間関係づくりを目指し、心の教育の充実に努めてまいります。

## 11 子どもは、場や相手に応じたあいさつができています。

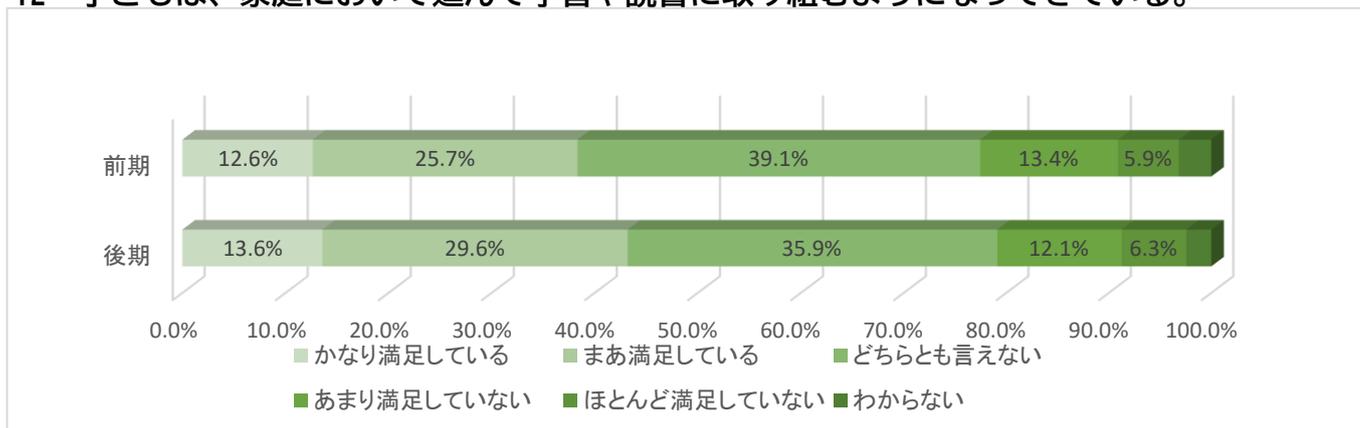


本項目では、「かなり満足」「まあ満足」と回答された方が 65.5% となり、前期の 63.7% よりわずかに上昇しました。また、「あまり満足していない」「ほとんど満足していない」が減少していることから、子どもたちのあいさつの習慣がより良い方向に育っている様子がうかがえます。

本校では、登下校でのあいさつ、授業の始まりと終わり、友達や地域の方と関わる場面などで、「場に応じた丁寧なあいさつ」を大切にしています。学級での話し合い、教職員の手本となる声かけなどを通して、自然にあいさつができる環境づくりを進めています。あいさつの習慣は家庭での取り組みも大切であり、学校と家庭が協力することで、子どもたちのより良い習慣づくりにつながります。

今後も、さまざまな場面で気持ちのよいあいさつが広がるよう、学校全体で取り組みを続け、児童の姿をより分かりやすくお伝えしてまいります。

## 12 子どもは、家庭において進んで学習や読書に取り組むようになってきている。



本項目では、「かなり満足」「まあ満足」が 43.2% と前期よりやや増加しました。一方で「どちらとも言えない」が 35.9% と依然高く、家庭での学習・読書の取り組みにはご家庭間で差が見られます。また、不満寄りの回答も一定数あり、学校として家庭学習支援の在り方を見直す必要を感じています。

自由記述ではタブレットに関するご意見が多く、接続不良や機器不具合で課題提出ができない、保護者が操作を把握できず支援しにくい、重さによる毎日の持ち帰り負担、紙のプリント宿題の併用希望、ペアレンタルコントロールの要望などが寄せられました。ICT活用には、宿題提出のしやすさやタイピング向上といった利点がある一方で、家庭のネットワークや機器状況によって学習が進みにくい課題も明らかです。

こうした状況を踏まえ、紙のプリントとタブレット課題の適切な併用、不具合への迅速対応等、家庭でも安心して学習に取り組める環境づくりを図ってまいります。家庭学習の充実は学習習慣や自己管理能力の育成に不可欠であり、今後も保護者の皆様の声を大切にしながら、家庭と学校が協力して子どもたちの前向きな学びを支えていきます。

他にも次のようなご意見を頂いております。個人が特定される可能性のある内容につきましては、差し控えさせていただきます。また、内容が似たものに関しては、割愛させていただきます。

### ☆ 学校への肯定的意見

- ・いつもご指導ありがとうございます。学校が大好きで楽しく通っています。引き続き、よろしく願います。
- ・いつも子どもの成長を見守って頂きありがとうございます。これからも宜しく願い致します。
- ・不登校の子供に対して、校長先生はじめ先生方皆様であたたかく対応してくださり、心から感謝しています。
- ・いつも子供達の、指導に感謝しております。
- ・いつも子供達の学校生活を支えてくださりありがとうございます。
- ・回答おそくなってしまい申し訳ありません。子供達は楽しそうに学校に行っています。いつもありがとうございます。
- ・学校をいやがらずに行けているのは本当に先生方のご配慮があるからだとおもっています。いつも本当にありがとうございます。
- ・先生方いつもありがとうございます。
- ・先生が小さな揉め事もしっかり寄り添い対応してくださり、本当に感謝しかありません。1年間ありがとうございました。
- ・担任の先生が何かあれば連絡くれ安心できます。
- ・担任の先生が丁寧な字を書くように指導して下さい感謝しています。
- ・子どもが、自分で考えて、決めて、行動していることが多くなりました。学校での先生方のお声がけや、見守りが、本当にありがたいです。ありがとうございました。
- ・無理をさせず子供に寄り添っていただき先生方には感謝しております。いつもありがとうございます。
- ・子供たちのために、いつもありがとうございます。
- ・先生たちにはよく見ていただいていると思います。子どもたちが、お互いを認め合える小学校生活を送ってほしいです。
- ・先生には悩みをたくさん聞いてもらい感謝しかありません。
- ・いつも丁寧なご指導をありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

### ☆ 学校運営・ルール

- ・1年生が、重たいタブレットを毎日持って歩くのがかわいそうです。連絡帳を活用するのは難しいでしょうか？それか、LINEでの連絡にできないでしょうか？
- ・1年生の宿題が多いように感じます。タブレットでの連絡帳が見れないことがあると困ります。タブレットを推奨してありますが、荷物が増えるのか減っているのか分からないくらい重たい物を毎日持ち運ぶのは子どもにとってかなりの負担に感じます。
- ・LINE連絡が伝わってないことがあった。確認できないなら連絡帳に戻すべきでは。
- ・いつもお世話になっております。学校からの連絡という部分で、インフルエンザやコロナ等での学級閉鎖があった場合に、該当学年だけの連絡ではなく、他の学年にも連絡してもらうことは可能でしょうか。きょうだいがいると情報入ってくるみたいですが、現状の学校の学級閉鎖の状況を知れると、親側ももしかしたらうちの学年も来るかもとか、ちょっとした心構え的な予想もできます。ほかの学年に言うてはいけない理由があれば、なぜか知りたいし、もし大丈夫なら、「2/4 現在 ○—□ 学級閉鎖」みたいな形で、連絡もらえたらありがたいです。
- ・先生との連絡が少ない為、学校での生活の様子が、若干わかりにくい
- ・連絡帳がタブレットだとドリルやノートを持って帰りやすれ宿題が出来ないことがある。教科書をみて予習したいが出来ない。
- ・連絡帳がタブレットになり、確認しても配信されていない時もあり、タイミングがうまくあいません。連絡帳の方が本人も記入して覚えているので、良かったように思います。
- ・連絡帳がタブレットになり、子供があまり見せてこなくなりました。書く力をつける為にも連絡帳に戻してほしい。LINEで学年だよりと学校だよりの連絡が送られて来る際に、リンクも一緒に載せてほしい。LINEを閉じてわざわざ小学校のサイトからアクセスするのが手間です。
- ・連絡帳の用途だけで毎日タブレットを持って帰って来るのは重量があるので可哀想です。風間街道での信号がないところで斜め横断する子をよく見かけるようになりました。危険なので辞めるよう学校からもご指導頂きたいです。
- ・連絡帳は連絡帳に書くように戻してほしい、タブレットの宿題だけでなく鉛筆を持ってかく宿題も一緒に出してくれるといいです
- ・連絡帳をタブレットでは無く、連絡帳(紙と鉛筆を使って)書かせていただきたいです。先生方は大変だと思うのでチェック等は不用で…。
- ・連絡帳を保護者にも配信して欲しい。タブレットが重すぎる。
- ・いつもご指導ありがとうございます。学級閉鎖の連絡は該当学年だけでなく、全学年にお知らせいただけると体調不良になった時の目安になり助かります。
- ・いつも元気に小学校に登校できているのは先生方のお陰です。いつもありがとうございます。先日の学級閉鎖についてのお知らせですが、仕事休憩時にLINEを開くと3年1組が1番下にある為、その上に3年3組の記載に気づくことができませんでした。配信番号をつけて頂くとスクロールして確認ができますのでご検討頂きたいと思います。お忙しい中申し訳ありませんがよろしく願います。
- ・学校だより、学年だよりは紙で出してほしいです。

## ☆ 学習

- ・インフルエンザ等で自宅待機となっている時、オンライン授業を再開して欲しい 授業が遅れてしまうため
- ・オンライン授業をまったくしなくなってしまった。前から思っていたがオンライン授業もただ授業を写してるだけでオンライン受けてる子は放置されている。多少は問いかけや課題等を出してくれないと子供たちも画面を見るだけは退屈だしさぼってしまうなと思っていました。今後オンラインをやる機会があれば工夫が必要だと思います。
- ・最近我が家でタブレットの接続がうまくいかず宿題の提出ができない時がありました。ペーパーレス化など色々事情があるかと思いますがネットワーク環境の不具合等もあるので紙プリントの宿題もあるとありがたいです。
- ・学校と子供とはタブレットの使い方など分かり合えているようだが、保護者には浸透していないので、いざ何か起きた時の対処法が分からず課題も連絡も確認することが出来ない。
- ・タブレットが重いのが気になる。毎日の持ち帰りは必要なのか？ただタイピングが出来るようになったのは良いことだと思います。
- ・親がタブレット操作が分からず、なかなかみてあげていない
- ・親による使用制限が必要だと感じていますので、タブレットにペアレンタルコントロール機能を追加して頂きたいです。
- ・タブレットの活用が本当に意味がないと思う。ただの重たい荷物。
- ・タブレットの不具合が続くので。改善してほしい
- ・下の子達のタブレットはタブレットが導入された時の子供のお下がりの為、不具合が起こりやすい。新しいタブレットに交換して欲しい。何年リースなのでしょう。
- ・宿題で習っていないところが出てくることが多く、宿題をやる時間が大変でした。1度学校に行きたくないと言い出した時は悩みましたが、対応していただきありがたかったです。暴力を振るう子や、物を使って攻撃してくる子に対して、「こうゆう子だからと言われた」と子どもに言われた時は、子どもに何て説明すれば良いか悩みました。
- ・騒ぐ生徒のせいで授業がきちんと行われていなかった印象があります。
- ・1クラスの数が多く、先生方も工夫されていると思うけど1人1人の把握や対応が大変そうに感じます。

## ☆ その他

- ・地域と、もっと密接に関わりたいのであればPTAを廃止し、白井の業者を使って学校行事を進めていけたら良いかな？と思いました。
- ・校内で学級閉鎖になった場合、対象学年だけではなく、感染予防の注意喚起のために、全保護者にお知らせしてほしい。マラソン記録会の延期の決定の判断が遅すぎたと思う。
- ・運動会の内容がここ数年同じな為、変えて欲しい
- ・早下校になった時は親と連絡が取れるまで、下校させないで欲しいです。仕事中はLINE連絡を確認できません。
- ・学校日より、学年日より紙で出してほしいです。
- ・学校日よりや学年日よりLINEで通知していただく際に、URLを貼付していただければありがたいです。
- ・写真購入し忘れた時のために再販売をして欲しいです。
- ・放課後の交通ルールがまだ危うい子たちがいるように思いました。駅前でも平然と赤信号を無視をして自転車で渡る小学生を見て注意した時もありました。家庭でもその場にいる大人とも注意していきたいと思いました。
- ・危ない六年生が心配
- ・高学年の児童が通学路とは違う道から下校しているのを頻繁に見かけます。横断歩道を渡らないことも多く、何度か教頭先生に伝えたこともありますが、それでも繰り返しているようです。大人の言うことを全く聞かない子ども達なんだなとある意味感心します。

全体に関わる内容について、ご紹介させていただきました。

多くの皆さまから温かいコメントをお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

学校評価全体を通して、学校に対してあたたかく、前向きなご意見を多数頂戴し、本校の教育活動に対する保護者の皆さまのご理解とご信頼を改めて感じております。

個別にいただいたご意見やご指摘につきましては、真摯に受け止め、全職員で共有しながら今後の改善に努めてまいります。また、この結果をもとに、学校運営協議会委員の皆さまやPTA役員の皆さまとも話し合いを重ね、より良い学校運営につなげてまいります。

いただいたすべてのご意見を、学校への温かい期待として受け止め、子どもたちと保護者の皆さまにとって「安心して通わせられる七小」であり続けられるよう、今後も一層努力してまいります。